

地域連携つうしん

特集

検尿のすすめ

令和5年10月より、当院で腎臓病を担当しております高橋聡と申します。「地域連携つうしん」の紙面を利用し、ご挨拶代わりに検尿のお話を致します。

検尿は非侵襲的かつ低コストで、検尿でしばしば発見される尿蛋白は、末期腎不全、心血管疾患による死亡など重篤なイベントの強力なリスク因子であることが証明されており、また、尿蛋白量のレベルの変化は、特に慢性腎臓病診療の指標として重要だと指摘されております。

この様に簡便かつ有用だと思われる検尿ですが、私、高橋は、検尿は軽視されているのではないかと、以下の2点から危惧しております。

まず、検尿の実施頻度の点です。検尿は、腎臓病診療では最重要の検査だと思うのですが、慢性腎臓病においては、診断後半年以内に検尿が実施されたのは約6割にすぎないという報告があります。

次に、検尿の結果評価の点です。尿蛋白を例にとると、尿蛋白定性1+と一口に言っても、尿の濃縮度によって、リスクが少ないと思われる0.2 g/gCrからリスクが大きいと思われる1.0 g/gCrまで表しえることは、意外に知られていないのではないかと、この印象を持っております。

特に慢性腎臓病では、治療介入により尿蛋白を3割減少させることが出来れば、3割のリスク低下となるようなので、検尿は、腎臓病発見のスクリーニングの他、治療介入後の評価方法としても非常に重要だと思います。

治療に難渋する急性、慢性の腎臓病症例がございましたら、微力ながらお役に立てるかもしれませんので、ご紹介頂ければ幸いです。



【 担当：腎臓内科 高橋 聡 】

医師異動のお知らせ

退任 (令和5年12月31日付け)

整形外科 竹内 祐貴 医師



お知らせ

第23回菊川市立総合病院・市立御前崎総合病院 合同カンファレンス開催のお知らせ

合同カンファレンスを次のとおり開催させていただきます。医師会の先生方を交え、相互理解の深まる機会になればと企画いたしました。

ご多忙のこととは存じますが、多数の方のご参加をお待ちしております。

1. 日 時 : 令和6年2月21日(水) 19時～ (18:30～ 医薬品の説明があります)
2. 場 所 : 市立御前崎総合病院 2階 講堂
3. 演 題
 - 1) 長期的ケアの症例から考える家庭医について(仮)
しろわクリニック 家庭医療専攻医 加藤 直貴 医師
 - 2) 菊川市立総合病院における排尿自立支援の実践
～多機能病院だからやりやすい排尿自立支援～
菊川市立総合病院 泌尿器科 鈴木 泰介 医師
 - 3) RA 人工足関節置換術後に全足関節固定術を要した1例
市立御前崎総合病院 整形外科 鈴木 基裕 医師

診療実績

○診療実績

項 目		11 月	12 月
紹介患者数		360 人	372 人
逆紹介患者数		281 人	285 人
1 日 当 り 患 者 数	入院	184.3 人	188.1 人
	外来	494.4 人	508.4 人
病床利用率		70.9%	72.4%
救急搬送件数		101 件	136 件

○受託検査実績

項 目	11 月	12 月
CT	33 件	33 件
MRI	57 件	40 件
超音波検査	18 件	11 件
その他検査	5 件	3 件

【 発 行 】

菊川市立総合病院 地域医療支援課 〒439-0022 静岡県菊川市東横地 1632

TEL : 0537-35-2344 Eメール : renkei@kikugawa-hosp.jp

FAX : 0537-35-2843 ホームページ : <http://www.kikugawa-hosp.jp>



©菊川市